

第 14 回 全国で PUSH 運動 報告書

いばらき PUSH 合計 2,500 名

茨城県内の学校(幼小中高特支)計 128 校の教職員・10 市町村の養護教諭部会の皆様に、「全国で PUSH!」として、オンライン及び対面での PUSH コースを開催しました。

約 2,500 人が受講され「学校での心臓突然死ゼロ」に向けた取組として、コロナ禍での教職員の皆様に対する心肺蘇生・AED 研修の受け皿となったのではないかと考えています。

この活動が、小学校からの教諭による救命教育の推進にもつながることを願っています。



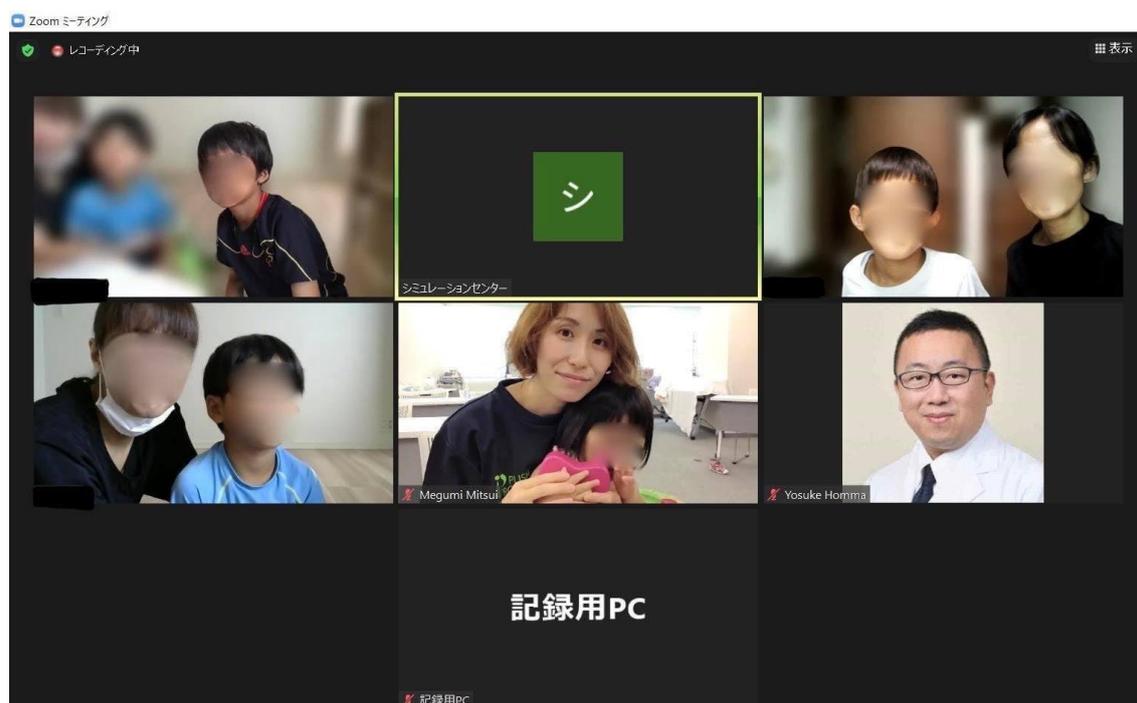
大阪ハートラボ 14 名

8 月 21 日(日)大阪ハートラボ主催の一般市民向け AED 救命講習(PUSH コース)をあべのハルカス(大阪大谷大学ハルカスキャンパス)で開催しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大中のため、受講生の前後左右を空席にするなど、感染予防に配慮しました。受講者は 14 名。ご家族での参加もあり、5~6 歳のお子さんも 3 名、熱心に集中して受講してくださいました。



千葉 PUSH 5名

2022年8月6日親子救命講習会を開催しました。対面で行う予定でしたが、新型コロナウイルスの感染状況を鑑みて、急遽オンラインへ変更し実施しました。小学生から1歳のお子さんまで、約1時間にわたり、心肺蘇生について親子で学んでいただきました。大きなお人形やクッションにTシャツを着せたり、お手製のAEDパッドをご用意いただいたり、オンラインのため練習用の人形が提供できない中で、各ご家庭、工夫し準備した上で、ご参加くださいました。引き続き心肺蘇生法の普及に努めてまいりたいと思います。"



わしん倶楽部 40名

通常原町児童館で行わせて頂いていましたが、密にならないようにと宮城野区中央市民センターの体育館をお借りし、対象は1年生から5年生に限定し、(6年生も参加となると60名前後になる為)行いました。前半、資機材の不都合により、DVD無しで、コロナ禍における「救命救急」の注意点・安全確認・コールアンドプッシュなど口頭で行い、資機材復旧後「救え！ボジョレー」DVDによる講習会を行い、終了後は「自由研究ワークシート」を記入しながら振り返りを行いました。

減らせ突然死トークショー & 全国で PUSH!

～胸骨圧迫と AED を学ぼう～実施報告(2022 年 8 月 11 日(木・祝)実施)

主催

NPO 法人大阪ライフサポート協会

公益財団法人 日本 AED 財団

一般社団法人 日本循環器学会

公益財団法人 日本心臓財団

一般社団法人 日本循環器協会

8月10日は
健康ハートの日

JAPAN HEART DAY × PUSH

それは大切な人が倒れたとき、
誰にでもできること。

参加費
無料
事前登録制

減らせ突然死トークショー
&
全国でPUSH! ～胸骨圧迫とAEDを学ぼう～

毎年8月10日の『健康ハートの日』の前後には、PUSHプロジェクトの趣旨に賛同する方々と力を合わせ、全国で一斉に市民を対象にした救命講習を実施する『全国で「PUSH!」運動』を開催してきました。

2022年は、NPO 法人大阪ライフサポート協会、日本 AED 財団、日本循環器学会、日本心臓財団、日本循環器協会の5つの団体が主催となり、前重壽郎さん、前重奈緒さんご夫婦および日本 AED 財団の AED 大使である蝶野正洋さんにご協力いただきトークショーを行いました。その後、胸骨圧迫、AED の使い方に関する PUSH コースを行いました。全国各地どこからでも参加してもらえるように、2021年に引き続き今年もオンラインでの参加型イベントを開催しましたので、当日の様子を報告します。

13:00-13:20

第 1 部：減らせ突然死トークショー

担当：石見 拓

(京都大学／日本循環器学会救急啓発部会委員長／日本 AED 財団専務理事 / 大阪ライフサポート協会副理事長)

蝶野正洋さん、前重壽郎さん、前重奈緒さんをお迎えしてトークショーを行いました。



前重壽郎さん奈緒さんにご協力いただき作成したメッセージビデオをみんなで冒頭に視聴しました。

その後、蝶野さんが心肺蘇生や AED の普及に携わられるきっかけになった身近な経験をお話し下さり、前重壽郎さんと奈緒さんからは、心停止で亡くなられた息子さんの響君の話をお伺いしました。響君の話を聞いた蝶野さんから「心停止は健康な人に起こるんですか？」という質問がありました。心停止の 1/3 以上は全く予知できず突然、健康な人に起こること、周りに居合わせた人たちの 1 分 1 秒の行動がその人の命を左右することを伝えました。最後に前重壽郎さん、奈緒さん、蝶野さんそれぞれから参加して下さいっている方へメッセージをもらいトークショーを終えました。

なお、第一部の様子は日本 AED 財団の YouTube (<https://www.youtube.com/watch?v=zq8OvHi6Y-Y>) でご覧いただけます。



(YouTube の QR コード)

13:20-14:00

第2部:胸骨圧迫、AEDの使い方に関するPUSHコース

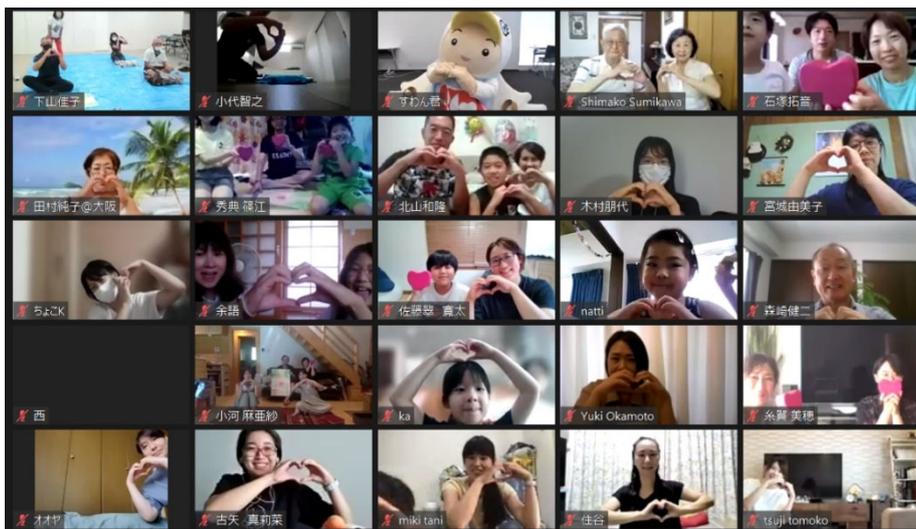
担当:西山知佳

(京都大学/PUSHプロジェクト副委員長/日本循環器学会救急啓発部会委員)

日本循環器学会で禁煙啓発活動を行っている“すわくん”も参加して講習を行いました。たたかう！救急アニメ 救え！ボジョレー！！のDVDを用いて、胸骨圧迫とAEDの使い方を学びました。自宅にあるクッションや座布団、ぬいぐるみを胸骨圧迫の練習に使い、交通系ICカードのような手のひらサイズのカード2枚をAEDパッドに見立てて練習を行いました。



最後にみんなでハートのマークを作って笑顔で記念撮影をして終了しました。お疲れ様でした。

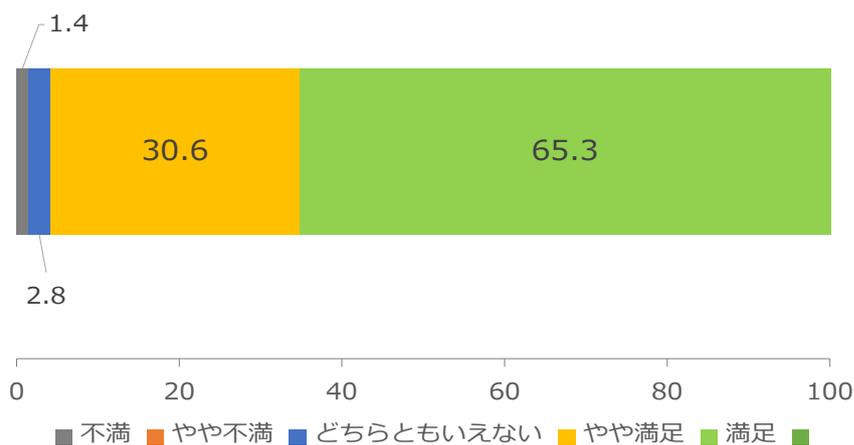


参加者状況

zoom へのログイン数は、第 1 部が 148 ID、第 2 部が 143 ID でした。1 つの Zoom から複数人が参加されていたこともあり、正確な参加人数は把握することができませんでしたが、200 人ぐらいは参加して下さっていたと思います。画面越しで見ると、子どもから高齢の方まで幅広い年齢層の方が参加されており、夏休みということもあり親子での参加も見られました。

アンケート結果のまとめ

終了後、任意の web アンケートを行い 72 人から回答があったのでその結果を示します。回答をして下さった方々の年齢層は、20 歳台 5 人 (6.8%)、30 歳台 8 人 (11.0%)、40 歳台 19 人 (26.0%)、50 歳台 20 人 (27.4%)、60 歳台 9 人 (12.3%)、70 歳台 5 人 (6.8%)、80 歳台 1 人 (1.4%) でした。95% の人が講習会は「満足」または「やや満足」と回答して下さっていました。



【講習会の感想(自由記載より抜粋)】

- ・小学生の自由研究の題材として参加しました。知らない事を知ることができ、もしもの時に役立てたいです。
- ・自分の身近なところで起こるかもしれない、他人事ではないと感じました。講習会に参加しとても良かったです。
- ・自宅から気軽に受講でき、良かったです。メッセージビデオですが、桐田あすかちゃんのものしか見たことがなかったので、とても良かったです。感動しました。ご遺族の方のお話しも心に残りました。ありがとうございました！
- ・AED には興味がありました。人を救えることを知ってるのと知らないのでは全然違うと思います。講習会の後、忘れないように復習しながらメモしました。大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・最初に多くの(元気だった)若者が突然命を落としている実例を提示していただき、さらに AED の重要性を考えることになり、良かったと思う。
- ・とても素晴らしい企画でした。参加できて良かったです。オンライン PUSH も講師の明るい進め方でとても楽しかったです。第一部の時間をもう少し長くかつたらもっと良かったと思います。
- ・実際に倒れた方がいるという想定で、呼吸の確認、119 番・AED の呼びかけ、胸骨圧迫や AED の実習と、実際の流れに沿った研修が受けられたことで、いざという時に自分にも出来る！という自信につながりました。とても役立つ講習を開催して頂き、ありがとうございました。
- ・心臓突然死で若くして命を落とされた方々のお写真、また、ご家族の方のお話を聞かせていただきありがとうございました。心肺蘇生法や AED について見聞きする機会があっても体験する機会がなかった為、今回実践する機会をいただき、とても勉強になりました。

まとめ

COVID-19 感染が拡大していたため、昨年度に続きオンラインでの開催となりましたが、多くの人に参加してもらうことができ、みなさんに満足してもらうことができました。講習会のみならず、前重さんや蝶野さん、石見先生にお力添えいただきトークショーを併せたことで、参加して下さった方になぜ心肺蘇生を学ばないといけないのか、何のために心肺蘇生や AED の使い方を学ぶのかということがよく伝わり、満足度も高かったのではないかと思います。心停止に陥った人を救命するためにはその場に居合わせた人の力は不可欠です。今後も市民を対象にこのような普及活動を行っていきたいと思います。